

令和6年度

進修同窓会総会

卒業60・50・40・25・15周年記念祝賀式



日時 令和6年4月27日（土）

会場 総会・祝賀式：土浦第一高等学校体育館

〒300-0051 茨城県土浦市真鍋4丁目4番2号

TEL 029-822-0137

FAX 029-826-3521

<http://www.sin-syu.jp/>

E-mail : shinshu@tsuchiural-h.ibk.ed.jp

茨城県立土浦第一高等学校校歌

作詞 堀越 晋・作曲 尾崎楠馬

1. 沃野一望数百里 関八州の重鎮とて
そそりたちたり筑波山 空の碧をさながらに
湛えて寄する漣波は 終古渝らぬ霞浦の水
2. 春の弥生は桜川 其の源の香を載せて
流に浮かぶ花筏 芦の枯葉に秋立てば
渡る雁声冴えて 湖心に澄むや月の影
3. 此の山水の美を享けて 我に寛雅の度量あり
此の秀麗の気を享けて 我に至誠の精神あり
東国男児の血を享けて 我に武勇の気魄あり
4. 筑波の山のいや高く 霞ヶ浦のいや広く
嗚呼桜水の旗立てて 我が校風を輝かせ
亀城一千の健男児 亀城一千の健男児

土浦一高賛歌

作詞 幡谷 祐一
作曲 池辺晋一郎

創学百年紫の
筑波の秀峰仰ぎつつ
紙筆に励み身体を鍛え
亀城の空は今晴れて
栄光に立つ土浦一高

広き心は霞ヶ浦の
水の清さと深き思慮
智力と技を磨きたる
亀城の友は巣立ちゆく
栄光に立つ土浦一高

先人の残せし訓 胸に留め
自主・協同・責任を
一途に守り直き道
亀城育ちの意気爽やか
栄光に立つ土浦一高

令和6年度 進修同窓会次第

令和6年4月27日（土）13時から

茨城県立土浦第一高等学校 体育館

1 開会のことば

2 校歌斉唱

吹奏楽部・弦楽部・応援指導委員会

3 物故会員に対する黙祷

4 会長あいさつ

5 学校長あいさつ

6 議長選出

7 議 事

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算報告について

監査報告

第2号議案 役員改選について

第3号議案 令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について

8 感謝状贈呈

9 その他

①次年度の総会日と周年事業祝賀会場について

2025（令和7）年 4月26日（土）（ホテルマロウド筑波全館予約済）

10 閉会のことば

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算報告

令和5年度 事業報告

[本部関係]

令和5年 4月29日(土) 同窓会総会及び周年記念祝賀式
令和5年 6月20日(火) 会報(第80号)編集委員会
令和5年 9月19日(火) 会報(第80号)編集委員会
令和5年10月 7日(土) 卒業周年祝賀式説明会
令和5年11月25日(土) 役員改選選考委員会
令和5年12月 1日(金) 会報(第80号)発行
令和6年 2月26日(月) 新入会員入会式(対面にて実施)
令和6年 3月 6日(水) 同窓会会計監査
令和6年 3月 9日(土) 同窓会役員会
令和6年 3月16日(土) 同窓会評議員会

[支部総会関係]

令和5年 5月28日(日) 真鍋支部会
令和5年 6月11日(日) 東京支部
令和5年 6月17日(土) 小美玉支部会
令和5年 6月22日(木) 水戸支部・県庁支部
令和5年 7月22日(土) 筑波銀行桜水会
令和5年 9月10日(日) つくば支部会
令和5年 10月28日(土) 東葛支部会
〃 取手支部会
令和6年 3月14日(木) 土浦支部会

[旧本館活用委員会]

1 委員会

定例委員会	隔週の火曜日に活動	25回
臨時委員会	定例以外の毎週火曜日	24回 アカンサス編集等

2 委員会のおもな活動

- 寄贈資料の台帳作成
- 在校生向け『アカンサス』の発行(11回)及びホームページへの掲載
- ホームページへの更新作業
- 一般公開に向けての展示準備作業
- 一般公開(9/9、10/14、12/9、R. 6. 1/13、3/9)

3 その他

- コロナ禍も沈静化しつつありましたので、一高祭期間中、旧本館の特別公開を実施しました。また、旧本館教室を授業で使用するための電装工事及び旧本館トイレの新設工事も終了しましたので、9月からは一般公開も再開しました。但し、一部教室については、展示物が未整理ですので、非公開としています。

令和5年度 進修同窓会決算書

収入総額 13,307,207円
 支出総額 9,989,378円
 差引残額 3,317,829円 (次年度へ繰越)

収入

単位：円

項 目	予算額	決算額	比較増減 (△)	備 考
1 繰 越 金	3,369,189	3,369,189	0	前年度繰越金
2 終 身 会 費	60,000	1,743,000	1,683,000	10名
3 年 会 費	7,000,000	6,700,000	△ 300,000	2,034名
4 入 会 金	1,475,000	1,495,000	20,000	新会員 計299名×5,000円
5 繰 入 金	0	0	0	
6 寄 付 金	0	0	0	
7 雑 収 入	811	18	△ 793	預金利息
合 計	11,905,000	13,307,207	1,402,207	
ご寄付者名				

支出

(残額欄の△は決算額が予算額を超過していることを示す。)

項 目	予算額	決算額	残 額	備 考
1 総 会 補 助	350,000	411,335	△ 61,335	総会資料, 会場設営等
2 会 報 発 行 費	3,400,000	3,190,390	209,610	会報印刷, 発送
3 通 信 費	400,000	8,966	391,034	切手, はがき
4 卒 業 記 念 品 費	250,000	301,200	△ 51,200	卒業証書ホルダー
5 卒業周年記念品費	500,000	500,000	0	卒業周年記念品代
6 会 議 費	400,000	17,002	382,998	役員会, 評議員会経費
7 支 部 連 絡 費	400,000	160,000	240,000	支部会補助
8 生 徒 奨 励 費	1,200,000	1,100,000	100,000	生徒会補助
9 生徒活動補助費	800,000	369,604	430,396	各部活動用品
10 別 途 積 立 金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	別途積立金会計へ
11 慶 弔 費	100,000	0	100,000	
12 事 務 局 費	1,000,000	966,721	33,279	担当者手当, 郵便振替手数料等
13 旧本館活用事業費	920,000	29,887	890,113	事務用品・旧本館公開準備経費
14 海 外 研 修 旅 費	1,000,000	934,273	65,727	生徒海外研修引率旅費補助
15 予 備 費	185,000	0	185,000	
合 計	11,905,000	9,989,378	1,915,622	

上記のとおり決算しました。

令和6年3月6日

茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会会長 大野 金一

監査の結果上記のとおり相違ないことを認めます。

令和6年3月6日

監事 草薙 宏明 (印)

監事 高山 了 (印)

監事 杉山 博 (印)

令和5年度会費納入状況

納入総額 **2,044 名 8,443,000 円**
(年会費 2,034名 終身会費 10名)

(1)年会費

卒業回	人数	金額	備考	卒業回	人数	金額	備考	卒業回	人数	金額	備考
中1～35	0	0		16	42	126,000		48	13	39,000	
36	0	0		17	41	123,000		49	13	39,000	
37	0	0		18	48	144,000		50	20	60,000	
38	0	0		19	58	174,000		51	9	27,000	
39	0	0		20	44	132,000		52	13	39,000	
40	2	6,000		21	44	132,000		53	15	45,000	
41	0	0		22	31	93,000		54	5	15,000	
42	2	6,000		23	49	147,000		55	13	39,000	
43	1	3,000		24	29	87,000		56	13	39,000	
44	2	6,000		25	48	144,000		57	8	24,000	
45	1	3,000		26	45	135,000		58	2	6,000	
46	1	3,000		27	58	174,000		59	7	21,000	
47	3	9,000		28	38	114,000		60	10	30,000	
48	6	18,000		29	42	126,000		61	5	15,000	
49	1	3,000		30	28	84,000		62	7	21,000	
併中1	0	0		31	29	87,000		63	5	15,000	
併中2	0	0		32	28	84,000		64	11	33,000	
高1	2	6,000		33	30	90,000		65	10	30,000	
2	7	21,000		34	19	57,000		66	5	15,000	
3	14	42,000		35	38	114,000		67	4	12,000	
4	15	45,000		36	36	108,000		68	10	30,000	
5	15	45,000		37	23	69,000		69	13	39,000	
6	26	78,000		38	27	81,000		70	7	21,000	
7	26	78,000		39	21	63,000		71	0	0	
8	40	120,000		40	22	66,000		72	0	0	
9	45	135,000		41	17	51,000		73	0	0	
10	34	102,000		42	17	51,000		74	0	0	
11	34	102,000		43	11	33,000		75	0	0	
12	40	120,000		44	22	66,000		76	274	1,370,000	
13	40	120,000		45	16	48,000					
14	46	138,000		46	15	45,000					
15	44	132,000		47	18	54,000		小計	1,973	6,467,000	

卒業回	人数	金額	備考	卒業回	人数	金額	備考	卒業回	人数	金額	備考
定1	0	0		33	0	0		65	0	0	
2	1	3,000		34	0	0		66	0	0	
3	0	0		35	0	0		67	0	0	
4	4	12,000		36	0	0		68	0	0	
5	0	0		37	0	0		69	0	0	
6	2	6,000		38	0	0		70	0	0	
7	1	3,000		39	0	0		71	0	0	
8	0	0		40	0	0		72	0	0	
9	3	9,000		41	0	0		73	25	125,000	
10	1	3,000		42	0	0					
11	0	0		43	0	0					
12	1	3,000		44	0	0					
13	2	6,000		45	0	0		定時制部会		0	
14	3	9,000		46	0	0		通信制	1	3,000	
15	2	6,000		47	0	0		小計	61	233,000	
16	1	3,000		48	0	0		合計	2,034	6,700,000	
17	0	0		49	0	0					
18	2	6,000		50	0	0					
19	1	3,000		51	0	0					
20	0	0		52	0	0					
21	1	3,000		53	0	0					
22	1	3,000		54	0	0					
23	0	0		55	0	0					
24	3	9,000		56	0	0					
25	1	3,000		57	1	3,000					
26	0	0		58	0	0					
27	1	3,000		59	0	0					
28	0	0		60	0	0					
29	0	0		61	3	9,000					
30	0	0		62	0	0					
31	0	0		63	0	0					
32	0	0		64	0	0					

(2)終身会費

卒業回	人数	金額	備考
高8回	1	1,000,000	
高18回	1	503,000	
高26回	1	30,000	
高27回	1	30,000	
高29回	1	30,000	
高34回	1	30,000	
高理59回	1	30,000	
高62回	1	30,000	
高65回	1	30,000	
高68回	1	30,000	
合計	10	1,743,000	

令和5年度 進修同窓会別途積立金決算書

収入総額 38,191,630円
 支出総額 0円
 差引残額 38,191,630円（次年度へ繰越）

一般会計の収入不足、生徒会活動の奨励金、その他に備えて「別途積立金」を設ける。
 但し、「別途積立金」は役員会の承認を経て支出することができる。

収入

項 目	予算額	決算額	比較増減(△)	備 考
1 繰 越 金	36,084,245	36,084,245	0	前年度繰越
2 記念誌売上代	0	57,000	57,000	記念品売上(賛助金)
3 名簿売上代	0	49,960	49,960	名簿売上還付金
4 繰 入 金	1,000,000	2,000,000	1,000,000	
5 雑 収 入	755	425	△ 330	預金利息
合 計	37,085,000	38,191,630	1,106,630	

上記のとおり決算しました。

令和6年3月6日

茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会会長 大野 金一

監査の結果上記のとおり相違ないことを認めます。

令和6年3月6日

監事 草薙 宏明 印

監事 高山 了 印

監事 杉山 博 印

進修同窓会規約

第1条 本会は、茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会（以下、同窓会という。）と称する。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、且つ母校の発展に協力することを目的とする。

第3条 本会は、事務局を茨城県立土浦第一高等学校内に置く。

第4条 本会は、下記の会員で組織する。

（1）正会員 ①茨城県立土浦中学校並びに併設中学校、茨城県立土浦第一高等学校及び茨城県立土浦第一高等学校附属中学校の各々卒業生。

②本校に在籍した者で同期が推薦し総会の承認を得た者。

（2）名誉会員 母校の現職員及び旧職員。

第5条 本会に次の役員を置く。

2 役員の選出及び任務は、それぞれ次のとおりとする。

（1）顧問 若干名。母校の現校長及び本会に功労のあった者を総会に諮って推挙する。

（2）会長 1名。会員の中から総会で選出する。本会を代表し、会務を総理する。会長に事故ある時は、会長が予め指定した副会長がその職務を代理する。

（3）副会長 若干名、会長が会員の中から任命し、総会で承認を得る。但し、母校の副校長、教頭並びに東京支部長、土浦市内の支部長、水戸支部長及びつくば支部長をこれに充てる。会長を補佐する。

（4）評議員 支部長及び各回幹事から2名以内で選出された者。本会の重要な事項について会長の諮問に応じてこれを審議する。

（5）本部幹事 40名以内。会長が会員の中から評議員会に諮り、会長が任命する。会長・副会長を補佐し、同窓会事務の企画・運営に当たる。本部幹事のうち4名を常任幹事とし、常任幹事は、それぞれ同窓会の総務、財務、広報及び事務局の総括を担当する。

（6）校内幹事 若干名。母校在職の会員の中から会長が任命する。本会の庶務・会計の事務を処理する。

（7）各回幹事 各回若干名。各回の会員が互選する。同期生間の連絡調整並びに母校及び同窓会との連絡に当たる。

（8）監事 3名。会長が会員の中から任命し、総会で承認を得る。本会の会計を監査する。

（9）選考委員 若干名。会長が必要に応じて、現校長、副会長及び本部幹事の中から選出する。会員の中から会長の人選に当たり、総会に諮る。

第6条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。補充役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第7条 本会は、適当の地域・職域に支部を設ける。支部長は、支部で選出し、会員同士の親睦並びに母校及び同窓会との連絡を図る。

2 本会に、定時制部会を置く。

第8条 本会は、年1回総会を開く。その時期は、4月とする。

第9条 本会は、年1回評議員会を開く。但し、会長が必要と認めるときは、評議員会及び正副会長会議を開くことができる。

第10条 本会正会員は、入会金として、第4条（1）①の会員5,000円、但し、附属中学校から引き続き高校へ進学した会員は、免除する。第4条（1）②の会員10,000円以上を納入する。

第11条 本会は、毎年同窓会報を発行し会員に配付するとともに、5年毎に会員名簿を発行する。

第12条 本会の経費は、第10条の入会金、年会費、終身会費及び篤志寄付金を以って充てる。

2 年会費は、卒業年から5年間は1,000円とし、卒業時に5ヶ年分を前納し、6年目以降は、3,000円以上とする。

3 終身会費は、30,000円以上とする。

第13条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第14条 会長は、毎年事業計画及び予算書を作成し、評議員会の議決を経て総会に諮る。

第15条 会長は、毎年決算書を作成し、議決を経て総会の承認を得なければならない。

第16条 本会は、卒業60周年、50周年、40周年、25周年、15周年（但し、定時制課程の3修3卒者においては、次年も招待する）に当たる会員を総会の時に招待し祝賀する。

第17条 本会の名誉を著しく高揚した者、本会のため功績顕著な者に対しては、評議員会の審議を経て総会において表彰する。

第18条 本会の規約の改正は、総会出席者の3分の2以上の同意を得なければならない。

附 則

昭和53. 4. 8改正 平成 4. 4. 12改正 平成 6. 4. 10改正 平成 7. 4. 9改正 平成 9. 4. 13改正

平成11. 4. 11改正 平成22. 4. 11改正 平成24. 4. 8改正 平成25. 4. 14改正 平成27. 4. 11改正

平成31. 4. 14改正 令和 2. 4. 12改正 令和 4. 3. 26改正

第3号議案 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)

令和6年度事業計画(案)

[本部関係]

- 1 母校との緊密な連携と援助
- 2 支部活動の奨励
- 3 会報の発刊
- 4 母校生徒会活動の援助と新入会員の歓迎
- 5 役員会・評議員会の開催
- 6 その他目的達成のための活動

[旧本館活用委員会関係]

- 1 土浦一高（旧制土浦中学校）に関する資料収集の推進
- 2 旧本館校舎部分公開及び一般公開に向けての準備整理
- 3 同窓会ホームページの活用（アカンサスの掲載継続）
- 4 文化財指定等で公開している建物について、公開管理状況視察

令和6年度 進修同窓会予算書(案)

収入総額 11,628,000円
 支出総額 11,628,000円
 差引残額 0円

収入

単位：円

項 目	予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備 考
1 繰越金	3,317,829	3,369,189	△ 51,360	前年度繰越金
2 終身会費	60,000	60,000	0	
3 年会費	7,000,000	7,000,000	0	
4 入会金	1,250,000	1,475,000	△ 225,000	250名(全239・定11) × 5,000円
5 繰入金	0	0	0	
6 雑収入	171	811	△ 640	預金利息
合 計	11,628,000	11,905,000	△ 277,000	

支出

項 目	予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備 考
1 総会補助	400,000	350,000	50,000	資料, 会場設営等
2 会報発行費	3,400,000	3,400,000	0	会報印刷, 送料
3 通信費	200,000	400,000	△ 200,000	切手, はがき等
4 卒業記念品費	250,000	250,000	0	卒業証書用ホルダー
5 卒業周年記念品費	500,000	500,000	0	卒業周年記念品代
6 会議費	350,000	400,000	△ 50,000	役員会, 評議員会等経費
7 支部連絡費	350,000	400,000	△ 50,000	支部会補助
8 生徒奨励費	1,200,000	1,200,000	0	生徒会補助, 生徒会活動功労賞
9 生徒活動補助費	800,000	800,000	0	部活動補助
10 別途積立金	1,000,000	1,000,000	0	別途積立会計へ
11 慶弔費	100,000	100,000	0	香料, 弔電
12 事務局費	1,000,000	1,000,000	0	担当者手当, 郵便振替手数料等
13 旧本館活用事業費	920,000	920,000	0	事務用品・旧本館公開経費
14 海外研修旅費	1,000,000	1,000,000	0	生徒海外研修引率旅費補助 グローバル基金補助
15 予備費	158,000	185,000	△ 27,000	
合 計	11,628,000	11,905,000	△ 277,000	

※項目間の流用を認める。

上記のとおり提案いたします。

令和6年4月27日

茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会会長

令和6年度 進修同窓会別途積立金予算書（案）

収入総額	39,192,000円
支出総額	0円
差引残額	39,192,000円

収入

単位：円

項 目	予算額	前年度予算額	比較増減（△）	備 考
1 繰 越 金	38,191,630	36,084,245	2,107,385	前年度繰越金
2 記 念 誌 売 上 代	0	0	0	「進修120年」
3 名 簿 売 上 代	0	0	0	
4 繰 入 金	1,000,000	1,000,000	0	
5 雑 収 入	370	755	△ 385	預金利息
合 計	39,192,000	37,085,000	2,107,000	

上記のとおり提案いたします。

令和6年4月27日

茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会会長

【評議員名簿】

支部長〔地域支部〕

土	浦	高 21	小	原	芳	道
高	津	高 15	宮	本	幸	男
真	鍋	高 18	高	山		了
美	浦	高 8	武	田	信	則
龍	ヶ	高 12	山	村	邦	男
真	壁	高 11	飯	泉	春	長
小	玉	高 17	出	頭		整
東	葛	高 21	齋	藤	泰	雄
宮	城	高 6	塚	田		昇
北	海					
阿	見					
岩	間					
日	立					
県	庁	高 37	成	瀬	真	勝
筑	波	高 23	藤	川	雅	海

土浦三中地区

小	松	高 10	廣	瀬	昭	雄
新	治	高 18	田	上		顯
牛	久	高 14	宮	本	武	憲
取	手	高 24	杉	山		博
八	郷	高 14	三	輪	康	史
水	戸	高 17	大	竹	伸	一
東	京	高 18	飯	塚	哲	哉
つ	く	高 27	田	谷	光	一
日	本					
豊						
潮	来					

常	陽	高 36	鳥	羽	吉	嗣
上	海	高 29	矢	口	孝	則

各回評議員

中 40	梅	澤	正之進
中 42			
中 43	横	田	照 治
中 45			
中 47	井	坂	雄
中 49	真	中	義 雄
高 2			
高 4			
高 5	尾	形	省 三
高 7	住	尾	勉
高 9	古	森	貞 弘
高 11	長	瀬	宗 男
高 13	堀	越	昭
高 15	島	田	卓 光
高 16	五	頭	英 明
定 14	石	神	毅
高 18	鈴	木	志 郎
高 20	長	峰	一 男
高 22	荻	沼	秀 一
高 24	海	老	原 一 郎
高 26	富	田	格
高 28	小	城	豊
高 30	野	澤	博
高 32	下	條	卓 造
高 33	片	岡	達 郎
高 35	塚	本	一 也

中 41			
中 43	高	橋	秀
中 44			
中 46	久保	木	康 輔
中 48			
高 1			
高 3			
高 5			
高 6	田	村	敏 明
高 8	本	川	軍 治
高 10	鈴	村	博 一
高 12	瀧	ヶ	崎 洋
高 14	南		隆 男
高 15	野	村	ル ナ
高 16	石	田	栄 一
高 17	坂	本	栄 郎
高 19	中	村	志 郎
高 21	柴	沼	和 広
高 23	藤	澤	宏
高 25	前	島	寛 誠
高 27	桜	井	浩
高 29	島	岡	宏 明
高 31	茂	木	久 和
高 32	原		光 広
高 34	加	治	行 雄
高 36	大	曾	根 靖 夫

高 37	齊	藤	康	彦
高 39	日比	野		有
高 41	矢	口	和	弘
高 43	目	次	康	男
高 45	吉	田		謙
高 47	中	山	雅	博
高 49	松	井	泰	道
高 50	小	池	利	明
定 47	鈴	木	信	行
高 52	戸	谷	義	治
高 54	兵	頭	翔	洋
高 55	島	田	達	也
高 56	辻		尚	宏
定 53	内	田	健	人
高 57	沖	田	賢	亮
高 58	八	木	太	一
高 59	内	山	昌	博
高 60	長	谷	龍	骨
高 61	井	原	謙	太郎
高 62	倉	内	裕	史
高 63	島	田		董
高 64	一	色	竜	杜
高 65	原	部	直	輝
高 66	藤	井	章	太
高 67	大	藤	由	紘
高 68	関		俊	希
高 69	山	口	航	平
高 70	森		裕	介
高 71	小	林	萌	愛
高 72	宮	田	明	音
高 73	大	島	弘	也
高 74	鶴	町		開
高 75	藤	原	桃	子
高 76	山	中	慧	治

高 38	村	上	太	郎
高 40	大	川	政	則
高 42	木	島	則	幸
高 44	小	倉	洋	平
高 46	中井	川	大	助
高 48	小	野	重	満
高 49	青	山	大	人
高 51	木	村	友	和
高 51	飛	澤	美	樹
高 53	島	田	秀	瑛
高 55	坪	松	章	人
定 52	工	藤	圭	太
高 56	菱	沼	智	之
定 53	櫻	井	忠	男
定 54	佐々	木	真	樹
定 55	酒	井	義	正
定 56	酒	井	彩	芳
定 57	山	下	一	宏
定 58	兒	玉	拓	也
定 59	鈴	木	真	介
定 60				
定 61	寺	門	広	人
定 62	高	花	翔	太
定 63	佐	藤		翼
定 64	鳴	海		聖
定 65	佐	藤	香	雪
定 66	入	田	杏	老
定 67	山	口	陸	冬
定 68	遠	藤	美	咲
定 69	塚	本	光	晟
定 70	根	崎	伊	吹
定 71	久	松	綾	香
定 72	小	林	大	樹
定 73	佐	藤	寛	太

進修同窓会旧本館活用委員会規則

(設置)

第1条 進修同窓会に、進修同窓会旧本館活用委員会(以下「委員会」という)をおく。

(目的)

第2条 委員会は、土浦一高(旧制土浦中学校)に関する資料を収集し、学校と連携しながら、旧本館の活用事業を推進することを目的とする。

(組織)

第3条 委員会の定数は、校内委員若干名を含め、20名程度とする。

(委嘱)

第4条 委員は、進修同窓会会員の中から進修同窓会会長が委嘱する。

(任期)

第5条 委員の任期は2年とし、欠員が生じた場合の補欠の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任をさまたげない。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長1名、副委員長2名をおく。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。ただし、副委員長のうち1名は教頭をもってあてる。

3 委員長は委員会を代表し、会務を主宰する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、または委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(事業)

第7条 委員会は、旧本館の活用を図るため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 土浦一高(旧制土浦中学校)に関する資料の収集。
- (2) 旧本館資料展示室における展示の改善。
- (3) 旧本館における各種資料の良好な保存環境の維持。
- (4) 所蔵する資料及び新たに収集する資料の整理、保存。
- (5) 旧本館の一般公開に係る事業。
- (6) その他、旧本館の活用に意義のある事業。

(庶務)

第8条 庶務は、進修同窓会本部事務局において処理する。

この規約は、平成14年4月14日から施行する。

旧本館活用委員会委員一覧

役 職	卒回等	氏 名
委員長	高21	助 川 博 夫
副委員長	副校長(高36)	日 向 久
副委員長	高20	原 田 晋 市
委 員	副参事兼事務室長	諸 岡 重 彰
委 員	高 5	飯 村 弘
委 員	定 4	桜 井 光 孝
委 員	高19	小 泉 明
委 員	高19	竹 井 茂 雄
委 員	高20	渡 邊 慎 一
委 員	高20	林 和 男
委 員	高21	鈴 木 義 人
委 員	高21	松 井 泰 寿
委 員	高21	鴻 巣 茂
委 員	高21	鈴 木 道 信
委 員	高21	中 泉 多 詔
委 員	高23	黒 岩 英 行
委 員	高25	大和田 浩一
委 員	高33	久保田 高広
委 員	高36	宮 代 篤
委 員	高40	大 塚 健 司
委 員	高43	本 田 由 佳
委 員	職 員	鈴 木 佐 与

令和6年度

卒業60・50・40・25・15周年記念

祝賀式次第

令和6年 4月27日（土）総会終了後

司会：本部

- 1 開会のことば ()
- 2 主催者あいさつ ()
- 3 祝辞 (高27回：須田 義之様)
- 4 記念品贈呈 会長から各回代表者へ
- 5 謝辞 (高26回：小松崎 隆様)
- 6 閉会のことば ()

卒業60周年 [高校16回 (昭39年卒) 定14回 (昭40年卒)]
卒業50周年 [高校26回 (昭49年卒) 定24回 (昭50年卒)]
卒業40周年 [高校36回 (昭59年卒) 定34回 (昭60年卒)]
卒業25周年 [高校51回 (平成11年卒) 定49回 (平成12年卒)]
卒業15周年 [高校61回 (平成21年卒) 定59回 (平成22年卒)]

祝 辞

土浦一高 27 回卒 須田 義之

桜前線が日本列島を駆け抜け、新緑の季節を迎えんとする、本日このよき日に、卒業周年記念祝賀式を迎えられる、卒業 15 周年、25 周年、40 周年、50 周年、60 周年の皆様、誠におめでとうございます。あらためまして、心よりお慶び、お祝い申し上げます。

「母」という言葉は、愛情や優しさの象徴として使われることがあります。また、感謝の代名詞として、ふるさとに通じる哀愁の代名詞として使われることもあります。さらに、物事のもととなるものという意味で使われる場合もあります。本日お集まりの皆様の思いを代弁するのであれば、「母校」という言葉に集約されるのではないのでしょうか。年代や置かれている立場を異にしても、学び舎、青春、恋、友、恩師に対する思いと思い出は不変です。

昨今、日本にとって難しい時代になりました。成長・発展の時代から、人口減を伴う成熟の時代に突入しました。多様性を認め合う優しさの一方で、ひとつのことを一緒に行う喜びの機会が減りました。本校におかれましても、中学校併設に伴う学級構成の変更、学力偏重に対する新しい価値観・生き方、故郷・母校に対する思いが希薄になってしまった社会等、本質的問題が山積しています。

土浦一高の先輩、後輩の皆様、関係者の皆様の知恵とお力を結集して、これらの課題を克服し、輝かしい母校の未来が築かれんことを願ってやみません。

本日の式典をご準備くださいました、進修同窓会の役員、事務局の方々に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

卒業周年記念を迎えられる皆様、本日は、大きな声で、力強く、楽しく、「校歌」を歌い、大いに青春を謳歌しようではありませんか。

卒業周年記念、まことにありがとうございました。

謝 辞

高校 26 回(昭和 49 年)卒業生代表 小松崎 隆

本日は進修同窓会総会及び卒業記念祝賀式にお招きいただき、誠にありがとうございます。ふだん会うことのできない級友たちと 50 年ぶりに一堂に会することができました。コロナ禍の影響が残る中、貴重な機会を作っていただいた進修同窓会関係の皆様、昭和 49 年卒業生を代表して、一言感謝の言葉を述べさせていただきます。

また、在学中の高校生活を有形無形に支えてくださった先生方、事務・庁務の皆様、ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

昨年の秋、記念祝賀式開催の話聞き、久しぶりに卒業アルバムを開きました。国指定重要文化財の本館、クラス別のユニークな写真、校庭に集まった我々を俯瞰する写真、歩く会・一高祭などのイベントの数々、懐かしいシーン、生き生きとした顔、どれを見ても卒業アルバム委員の力作に感心させられます。

また、アルバムには 40 近い多彩な部活を紹介する頁もあり、その部活を一つ一つ見ていくうち、昨年秋の W 杯ラグビーフランス大会の余韻もあって、自分たちが立ち上げたラグビー同好会のことを思い出しました。

予算なし、指導者なし、学校のグラウンドは使えず、けが人を出したら即廃部という厳しい条件の中で、ラグビーがしたい一心で、試合に必要な 15 人の仲間を集めました。練習は日立電線グラウンドを借用してメニューは自分たちで作り、必要な用具やユニフォーム費用捻出のため、夏休みにはみんなで古墳発掘のアルバイトもしました。こうした工夫と努力が実って、久しぶりに土浦一高にラグビーの火を灯すことができました。

しかし、いくら熱心に練習しても、同好会では公式戦出場は認めてもらえない日々が続き、半ば目標を失いかけた時、土水戦で交流試合ができることになりました。しかも試合会場は、ふだん練習では使えなかった念願の一高グラウンドです。土水戦では、我々の練習や合宿を支えてくれた女子生徒も応援に加わって、大声援と黄色い悲鳴に包まれる熱戦となりましたが、結果はノートライで敗れました。

試合後、仲間の顔を見ると、何ともスッキリした、満足げな表情が印象的でした。いま振り返ってみると、まるでドラマか映画のような話ですが、こうした出来事の積み重ねが仲間との信頼や友情を育み、一高ラグビー部復活に繋がっていったことは、今でも一高ラガーマンとしての誇りです。

一方で、ラグビー同好会設立を早々に認めてくれた生徒会の自主性、後輩の 1 年生を引き抜いても黙認してくれた運動部の上級生たち、顧問就任依頼を二つ返事で快諾してくださった数学科の故石川武雄先生を始めとする懐の深い先生方、校内のこうした自由闊達でフレンドリーな校風と、校外では、学校からの紹介もなくグラウンドを貸してほしいと訪れた 1 年坊主の依頼に応じてくださった地元企業を始め、地元の皆さんの一高生に対する信頼、いわば一高ブランドが、今でも母校一高の誇りです。

さて、私たちは、大人に向かう貴重な 3 年間で全国にも名高い土浦一高で過ごす機会に恵まれました。一高で知り合った級友たちは、とても知的で、個性的で、独創的で、たくさんの刺激を与え合い、互いに切磋琢磨して過ごしました。級友や恩師とともに培った人間関係はその後の大きな財産・心の拠り所になりました。

あれから 50 年、かつて中国唐の詩人杜甫が「人生 70 古来稀なり」と謳った古稀をまもなく迎える年齢になりました。まさに「光陰矢の如し」のことわざを実感します。

これからは、中国の後漢書にある「老いてはますます壮んなるべし」の気概を持ちながら、時々あの頃に立ち戻り、感謝の気持ちと謙虚さとを失わずにいたいと思います。

最後に、土浦一高と進修同窓会の益々の発展・隆盛と皆さまのご健勝を祈念申し上げて謝辞とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。